

七月二十四日第四十一回連絡會議

佛印進駐、對米國交調整、泰國大使館ノ件

一、冒頭參謀總長ヨリ、軍隊ハ二十五日出發、二十八日「ナトラン」
二十九日「サンジャツク」ニ到着スヘキコトヲ述ヘタリ

外相「ヴシー」政府カラ、進駐軍隊カ軍紀ヲ守ル様、又安南
人ニ對シ非合法的ノ事ナキ様注意セラレ度旨申來レルヲ
以テ承知アリ度

共同防衛ノ意味ニテ進駐スルノテアルカラ、右ノ如キ事
ナキ様、彼等ヲヒキツケル様軍隊ヲ指導セラレ度希望ス
參謀總長 本件ハ軍司令官ニ能ク通シアリテ万心配ナシ。尙今後モ
充分ニ留意スヘシ

0351

三 佛印進駐ニ關スル政府ノ聲明案文ヲ可決ス。發表ハ二十六日正午
トシ獨伊ニ對シテハ本二十四日支那、滿洲、英米ニ對シテハ二十
五日
通告スルコトニ決定ス

外 相 佛印進駐問題ハ米國ニ影響ヲ及ホシ、重要物資ノ輸出禁
止、資金凍結、金ノ買入禁止、日本船舶抑留等ヲ實施ス
ルコトアルヘシ

重要物資中ノ問題トナルヘキモノハ棉花、木材、小麥、
石油ニシテ、棉花木材ニ對シテハ今迄既ニ手ヲウチタリ、
小麥ハ支那向ケノモノナルヲ以テ何ントカ手ヲ打テ得ヘ
ク、先々心配ナクアルベシ。石油ハ懸念セラルル所ナルモ
米カ全面的ニ石油禁輸ヲヤルカドウカハ問題ダ。

次ニ資金凍結ニ就テハ、在米日本現金ハ二億圓、證券三億五千万圓ニシテ、之ニ對シ在日米貨ハ三億圓ナリ。即チ差引二億五千万圓カ日本側ノ損失トナル。之レハ石油ヲ輸入スル場合ニ資金不足トナリ、帝國トシテ相當困ル金ノ買入停止ハ現在米向金ヲ出シテ居ラヌカラ心配ナシ日本船舶抑留ニ就テハ、目下米近海ニ十隻アルモ海軍省ヨリ未タ港ニ入ラヌモノハ二、三日入ラヌ様指令シアルヲ以テ、全部カ抑留セラルルコトハナカラウ資金凍結ニ關シテハ小倉藏相モ困ルト云フ意見テ、藏相ハ藏相ト個人關係アル一モーゲンソウニ米藏相ニ手紙ヲ出スト云ヒシモ、漸ク待ツテモラツテ居ル

0353

三、對米國交調整ニ就テ

外相 野村大使ハ過般「ハル」長官ノ「オウルステートメント」

ヲ先方ニ返シタガ、帝國ノ修正案ハ未タ「ハル」ニ通シ

アラスシテ之レニ就キ野村ヨリ意見具申アリ。外務省ト

シテハN工作ヲ打切ルノハ具合悪イト思フ。此度ノ佛印

進駐ハ軍事占領ニアラスシテ、帝國ノ必要ニ基ツキ佛側

ト話合ノ上ノ事ナルヲ米國ニ諒解セシメ、資金凍結又ハ

帝國船籍ノ「バサマ」運河通過ヲ濫ルコトヲ止メテモテ

イ、又N工作ヲ續ケ度イト思フ

尙米國ノ主張ハ次ノ二點ニアリ

(一)支那ノ和平交渉ノ細目ヲ米カヤリ度キコト

122

陸軍

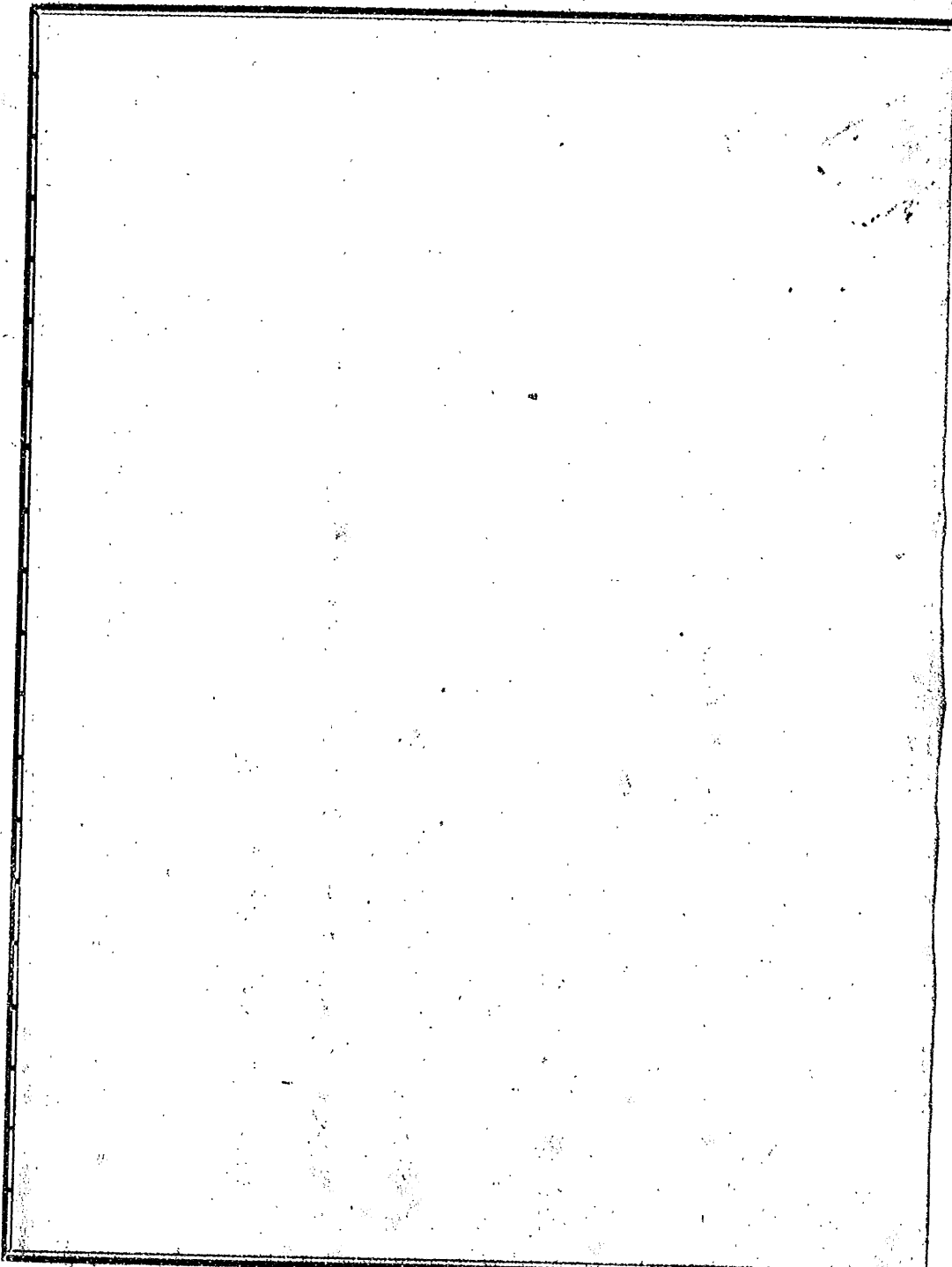
(二) 太平洋ノ和平問題ニテ日本カラシバラレヌ様スルコト
N 工作ニ關シテハ更ニ御相談申上クヘシ

四尙豊田外相ヨリ、昨日ノ樞密院會議ニテ決定セル泰國公使館ノ大
使館昇格ニ關シ、直ニ大使ヲ派遣スヘキヤ否ヤニ就テ提案アリ。
之ニ對シテハ現在佛印進駐ノ度種々噂ノ出ル時故直ニ大使ヲ派遣
スヘシト云フ意見ト、佛印進駐ニ伴フ米ノ出方モ一應見ル必要アリ
ルヲ以テ暫ク後日ニ延ハス方宜シト云フ意見アリシモ、結局未決
定ノ儘解散セリ

右會議、先キ
其後重光大使ノ歸朝談アリテ解散セリ

120

0355



日本標準規格 B-4

0356

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>